



「保険金を使って修理を」と勧誘されてもすぐに契約しないようにしましょう

相談事例

事例① 契約時に高額な違約金に関する説明がなかった

以前の台風の影響で雨漏りするようになった。そのような時に事業者から「火災保険の保険金で修繕ができる」と電話があり、訪問を受けた。事業者は屋根の損傷箇所を撮影し、約100万円の工事見積を出した。保険申請もすべて事業者が行なった。その後、保険会社の鑑定人が家を診て、見積額の全額は出ないと言われた。工事の契約時に違約金の説明はなかったが、書類を見たら工事をしていない場合は違約金として保険会社から支払われると見込まれる保険金の5

割を事業者を支払うと書かれていた。契約をやめたい。(50歳代 男性)

事例② 保険で修理可能と言われたのに保険金が下りなかった

事業者から無料点検をすると電話があり点検を依頼した。後日の結果報告で修理の見積書を見せられ、「屋根、雨どいなどに台風被害があるので、自己負担なく火災保険で修理できる」と勧誘された。保険金が出きり下りるとわかって契約したと言ったがキャンペーン中と言われて150万円の契約をした。しかし、保険会社から連絡があり、老朽化による修理に該当するので保険金は下りないと言われた。事業者から保険金は下りると言われて契約したので、修理の金額を減額してほしい。台風シーズンまでに修理が必要なので白紙には戻したくない。(70歳代 男性)

アドバイス

1 「保険金を使って自己負担なく住宅修理ができる」と勧誘されてもすぐに契約しないようにしましょう
「保険金で自己負担なく工事ができる」と勧誘されても、本当に保険金自己負担なく支払われる

かはわかりません。特に、保険金請求サポートや工事キャンセル時の手数料などの説明をされていないというトラブルも発生しています。契約前に必ず契約内容を確認し、手数料の有無や支払い条件をよく確認しましょう。

2 加入先の保険会社や保険代理店に相談しましょう

保険金の請求は加入者自身で行うことが基本です。事業者から「保険金で自己負担がなくて工事ができる」と言われても、まずは自身が加入している保険契約の内容、補償の範囲について保険会社や保険代理店などに確認しましょう。

3 その理由で保険金の請求をすることは絶対にやめましょう

経年劣化と知りながら、自然災害などの事故による損傷と申請するなど、その理由で保険金を請求すると、保険会社から保険金の返還請求や保険契約の解除をされる可能性があるほか、刑事罰(詐欺罪)に問われる可能性もありますので、絶対にやめましょう。もし、事

業者からその理由で保険金を請求するように勧められた場合には、契約している保険会社に相談しましょう。

4 不安に思った場合やトラブルになった場合は早めに消費生活センターに相談しましょう

訪問販売や電話勧誘販売で契約した場合は、クーリング・オフができる場合があります。

消費生活相談のお知らせ

かすや中南部 広域消費生活センター

▼開設日

月曜～金曜

(祝日・年末年始は休み)

▼相談時間 10時～15時30分

▼場所

志免町地域安全安心センター2階 (志免町志免中央1の10の10)

▼問い合わせ先

☎ 9336・1594

FAX 9336・1610

※相談の際は電話でご連絡ください。



若杉クラブだより

須恵町シニアクラブ連合会 会長 國奇 猛

今号は、6月1日(火)から始まった高齢者への新型コロナウイルスワクチン接種と台風や大雨などに関する避難情報改正の話題を紹介いたします。

ワクチン接種の有効性について

6月号の若杉クラブ(以下本会と称す)コラムに、「接種することで、新型コロナウイルスに対する抵抗力を作り出し、感染を防ぐことができる」と紹介しました。

最近、これを裏付けるように、「接種した人たちのワクチンの有効性を調査したところ、ほぼ全ての人で抗体価(侵入したウイルスを排除する役割を持つ)が大幅に増えたことを確認した」という記事を見つけました。期待どおり、このワクチンは新型コロナウイルス感染予防の切り札になると思っています。

このウイルスの流行を終息させるには、大半の人たちがワクチンを接種して集団免疫を作り出すことが必要です。

ワクチン接種は、自分のため、みんなのためにも、対象者全員が受けてほしいものです。

本会が予約の周知活動を行う

5月18日(火)と6月2日(水)の予約開始日前の二回にわたり、単位クラブ(以下単クと称す)会長と女性部長が全会員に周知活動を行いました。

一回目は須恵町の協力により、「新型コロナウイルスの接種予約について」の資料を単ク会長を通して全員に配布。電話予約は混み合うことやWEB予約は高齢者には操作が難しいこと

から町内医療機関での個別接種を勧めました。

また、本会女性部が、単身会員や、夫婦の会員を対象に訪問訪問を行い、郵送された接種券の確認や、かかりつけ病院が接種可能かどうかの説明を実施。必要な人には本人に替わり電話予約などのお手伝いをしました。

二回目は、6月1日に開催した本会役員会において、須恵町WEBサイトの最新のワクチン接種情報を配布・説明。この情報は、集団接種と個別接種の予約開始日や接種日時など記載され、予約が取れずに不安があった人たちの不安解消に役立ちました。役員会後に、あらためて会員に説明した単クもありました。全国の自治体では接種予約の混乱が続いている報道がありますが、本会の皆さんは、この周知活動により、安心された人が多かったのではないかと考えています。

避難情報が統一される

7月からの台風シーズンを迎え暴風や大雨など、災害発生への恐れが高い場合に自治体が発令する避難情報の避難勧告は廃止され、避難指示、高齢者等避難となりました。

避難に時間がかかると思われる人は、町から「高齢者等避難」が発令されたら、できるだけ避難行動を開始することが肝要です。なお、避難情報は防災無線で放送されますが、聴き取りにくいことが予想されます。その場合は、KBCテレビ「dポタン広報誌」で見ることが出来ます。詳しくは「広報すえ6月号」の2ページで確認されることをお勧めします。

本会は、「のびそう!健康寿命、担おう!地域づくりを」をスローガンに活動していきます。皆さんのご入会をお待ちしています。

若杉クラブ事務局 須恵町社会福祉センター内 0933-21-90

俳句

「風薫る・五月雨・五月闇・百合の花・梅雨・竹の皮脱ぐ・父の日・青嵐・夏野」
うぶすな句会
青山の寝釈迦のごとし風薫る 松永 唯道
五月雨や人も大地も息ひそめ 片淵はつみ
青空に香りとどけよ百合の花 今村 浄子
亡き友と夢で酒酌む梅雨深し 吉松 義廣
ひそやかに竹の皮脱ぐ揺籃期 大村 典久
老犬のつひに息絶ゆ五月闇 平野 則子
うぶすな句会会員募集 毎月第一水曜アザレアホール須恵で句会。初心者大歓迎。(松永 ☎9332・3517)

川柳

おかげさま日本にこんないい言葉 川鍋 房子
コロナ禍のシーズン到来客取れず 伊藤 可笑
夏盛りでシーズンオフのピヤホール 杉原 一生
恋の頃うるさくなつた猫の声 池田 茂代
温暖化四季を破壊し夏と冬とがみかつすけ 小林 淑子
四季めぐる風もやさしい命咲き 遠藤より子
衣替え去年の服の寸たらず 上田 多門
ウイルスがシーズン行事許さない 木村 文福
早々とお風呂ではしゃぐ海開き 安原美智子
ふるさとに梅雨連れて来るイジユの花 池田 遊歩
漁火のシーズン海は恋のなか

「虫くい川柳」

訪問着いわば女の()
梅雨入りに歌いたくなる傘の色 わたなべりお
分け合って食べたすももの季節です 大塚かの子
水無月や淡いピンクにマスク替え 山本 むつ
いのち継ぐセミが季節を生き急ぐ 上原 ふみ
歳時記を骨抜きにする温暖化 長崎 瑞竹